

全国美容週間実行委員会が取り組む

CO₂リセット イベントでのカーボン・オフセット

2023年、美容業界で初となるイベントでのカーボン・オフセットを全国美容週間実行委員会が先駆けて実施した。取り組みを牽引している、SDGs委員会の石田吉信委員長にお話を伺った。



NPO法人
美容週間振興協議会
全国美容週間実行委員会
SDGs委員会 委員長

いしだ よしのぶ
石田 吉信さん

全国美容週間実行委員会 (美容週間)とは



美容のすばらしさを広く社会にアピールすることを掲げ、9月4日の「くしの日」を中心にさまざまなイベントを行っている「全国美容週間実行委員会」。1979年に発足し、サロン・メーカー・ディーラー・理美容学校・団体等の垣根を越えたメンバーのもと、実行委員長が1年ごとに交替で任命される。実行委員会は年間テーマを掲げ、各委員会・各地区委員会が全国で活動している。そのなかで、2023年に第45代実行委員長に吉田牧人氏が就任し、併せて「SDGs委員会」が発足し、



9月4日の「くしの日」を中心に行われるイベント「The Beauty Week Award」では、ヘアスタイルが素敵なタレント・著名人を表彰し、理美容をアピール。



2025年度は、みやちのりよし実行委員長(写真右)が務める。写真左は2024年度枝村仁実行委員長、中央は瀧川裕史理事長。

石田吉信SDGs委員長が就任した。SDGs委員会では、美容週間の活動をとおり、社会課題の解決や地域貢献を発信している。

業界初のカーボン・オフセット



マスターズカップ



2023年、美容週間のヘアコンテスト「マスターズカップ」で行われたカーボン・オフセット。↑が証明書。取り組みが評価され、「東北支援カーボン・オフセット賞」を受賞した。



2023年、美容週間のヘアコンテスト「マスターズカップ」で行われたカーボン・オフセット。↑が証明書。取り組みが評価され、「東北支援カーボン・オフセット賞」を受賞した。



BEAUTY WEEK EVENT



2024年「BEAUTY WEEK EVENT」もカーボン・オフセットで開催。会場には証明書も展示された。左の写真は、第46代枝村仁実行委員長と石田SDGs委員長の対談。

美しいものをつくる理美容業界が地球環境の美と向き合う時代に

「美容週間では、2023年から実行委員会が行うイベント『BEAUTY WEEK EVENT』『マスターズカップ』で排出したCO₂をカーボン・オフセットしています」と石田SDGs委員長。2023年のコンテスト『マスターズカップ』で行ったカーボン・オフセットでは、その取り組みが評価され、経済産業省のJクレジット東北地域推進協議会から「東北支援カーボン・オフセット賞」を表彰された。

「一般では、イベントでのカーボン・オフセットは当たり前になりつつあります。先般、観戦したバスケットのBリーグの試合も実施していました。実は、『J-クレジット制度』を活用すれば、そう難しいことはありません。美をつくる我々の業界が、地球環境の美と向き合うことはマッチしていますから、コンテストやヘアショーなど美容業界で行われるさまざまなイベントで排出されるCO₂をクレジットでリセットする(カーボン・オフセットする)ことが、今後は普通になるのではないのでしょうか」。

美容週間のSDGs委員会では、イベントをとおり、社会課題の解決や社会的責任について聞いてきた。まずは「自分の周りから」と語る。

What's カーボン・オフセット J-クレジット

カーボン・オフセットとは、日常生活や経済活動で避けることができないCO₂等の排出について、排出量に見合ったクレジットを購入することで、排出を埋め合わせるという考え方。省エネルギー活動等により実現したCO₂排出削減や吸収量を、国が「クレジット」とし認証し、売却されるとカーボン・オフセットが成立する。この制度が「J-クレジット制度」。

「1.5°C目標」
達成のため
CO₂排出削減を!

気候変動とその対策を科学的に研究する世界的な組織「IPCC」によると、地球温暖化と気候変動は直接的に関係しており、「1.5°C特別報告書」では、気温上昇を約1.5°Cに抑えるためには、2030年までに2010年比で世界全体のCO₂排出量を約45%削減することが必要という知見を示している。

「サロンスタッフのため、身近な人や子供のため、自分の周りの人の幸せを考えてみてください。社会問題をクリアにしながら未来に繋げていくことは、将来まわり回って大切な人を守ることに繋がります。まずは、できることから始めてみましょう」。

